


教材・支援機器活用実践事例

	実施年度	H28年度	
授業について	教科名等	自分の持ち物の整理整頓をしよう。	
	単元・題材名		
	授業における教師のねらい	お道具箱の整理整頓の仕方など、言葉の指示だけでは伝わらない園児に対して、視覚的な写真で示し、自分で気づき、行動する力を育みたいと考えている。	
	授業における子どもの目標	自分で自分の身の回りの整理整頓をしようとする。	
子どもについて	学級・学校・学年	幼稚園 年長	
	対象の障がい (種別・診断名等)	自閉症スペクトラム	
	授業形態	集団	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	整理整頓の仕方が、言葉の指示だけでは伝わりにくい状況である。本人が「言われてから」取り組む姿勢ではなく、自分で気づいて、主体的に取り組む習慣づけていく必要がある。	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	写真カード (持ち物整理)	<p>【画像】</p> 
	活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○習慣化されることで、自ら整理整頓しようとするようになる。 ○どこに、なにを置くのか、気づいて、自分で行動することができる。 ○自分で行動できる経験を積むことで、本人の自己肯定感を育む。 	
授業における支援 ・教材の配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> ○本人の行動の動線を考え、見やすい場所、確認しやすい場所に写真カードをはり、何度か、その行動を見ながら改善を図ってきた。 ○写真の大きさ、見やすさについて配慮してきた。 	
子どもの変容や評価		○言葉をかけなくても、「あ、そうだ。」と自分で気づいて、整理整頓しようとして少しずつ意識するようになった。	